



お知らせ

- ・講演会&調査報告会 7月11日(土) 神戸女学院
- ・畑儀文の合唱教室 7月13日(月) 草志舎
- ・セミナー上期 第4回 7月18日(土) 草志舎
- ・国際ワーキングホリデー 8月24日(月)~28日(金)

創立15周年・認定NPO認証記念 講演会&調査報告会

今年度の大きな事業のひとつである講演会&報告会が間もなくとなりました。皆様のご協力のおかげで、多くのご参加の申し込みをいただいておりますが、神戸女学院の講堂は広いので、まだまだ収容できます。どうぞどんどんお誘いの声をおかけください。企画チームの想いについては「コラム」欄に実行委員長の安場耕一郎さんが書いておられます。こちらもどうぞご一読ください。



日時 7月11日(土) 午後1時~ 会場 神戸女学院

2015年度セミナー「わたしたちにとって文化遺産とは~その2」

<主催：文化遺産継承協議会>

アメニティ・アカデミーの第Ⅶ期セミナーは文化遺産継承協議会の主催で、「わたしたちにとって文化遺産とは~その2」という題で次のように開きます。歴史ある建物が次々と消えていく時代に、貴重な文化遺産をどのようにすれば、私たちの手で次代につなげていけるかを、さまざまな角度から探ります。

7月18日(土) 「自然と社会との共生の実験」 講師 暇悦喜

暇さんはコウノトリの郷営農組合前組合長として、日本では絶滅したコウノトリを復活させるために、コウノトリ育む農法に当初から取り組み、コウノトリの野生復帰に貢献されました。その地域ぐるみの努力、ご苦労、成果についてお話しいたします。兵庫県農業賞を受賞されました。

参加費：会員2,000円 一般2,500円

定員：20名(定員に達し次第締切ます) 会場：草志舎

ご報告 上期セミナー第2回 5月9日(土) 草志舎

文化遺産継承協議会のはじめての発表の場でした。奥村さん、撫養さん、青井さんのそれぞれのまとめは聞きごたえがあり、1年にわたる調査・研究の成果がよくわかりました。次の報告は7月11日です。こちらも楽しみです。

報告者：奥村太郎、青井弘之、撫養奈津子



この夏は...国際ワーキングホリデーで!!

月日 8月24日(月)~28日(金) 場所 ヴォーリズ六甲山荘

ワーキングホリデーはこれまで4回開催してきましたが、今年は海外からの参加者を募ってしようと計画しています。すでに台湾のナショナル・トラスト組織から参加の申し込みがありました。迎える日本側からも参加者が必要です。どうぞお知り合いの学生さんや国際交流に関心のある方にぜひお声をおかけください。一緒に夏の六甲山で活動しましょう!



ご報告 畑儀文の合唱教室 5月18日(月)、6月15日(月) 草志舎

いろいろな歌をつぎつぎと歌っていると、1時間半の時間はあっという間に過ぎてしまいます。今皆さんはヴォーリズのつくった歌の練習をしています。メロディーの美しい歌です。

ご報告 2015年度通常総会 5月23日(土) 草志舎

委任状138名 合計160名の出席で総会は成立。議案はすべて承認されました。これで2015年度の活動が本格的にスタートします。認定NPOを受けたその経過の報告、文化遺産継承基金についての報告等、新しいステップを踏み出す話を心強く伺いました。その後の懇親会もにぎやかに楽しく、最後に欠席者への総会資料送付もすませました。



【コラム】 「アメニティ2000協会創立15周年&認定NPO認証記念講演&報告」を成功させましょう

安場 耕一郎

表記の行事準備のための実行委員会に参加させてもらっています。

今、まさに「ホームストレッチ」に差し掛かって、スパートしているところです。行事の内容は、5月の総会后に、会員の皆様にお送りしたチラシの通りです。(あるいは、「アメニティ便り」本号にも記載されています。)

7月11日(土) 13時から、神戸女学院講堂を借りて、開催します。

今回は周年行事にとどまらず、昨年末に、数あるNPO法人の中でも「活動の公益性」と「組織の適正性」という厳しい審査を受けて「認定」取得したという特筆すべき事実を記念して、開催いたします。会場も、昨年ヴォーリス建築としてはじめて、「国指定重要文化財」に指定された神戸女学院のキャンパスを使わせてもらい、神戸女学院 森 孝一院長から記念講演をいただく、一大奉祝行事にしたいとの思いがあります。

この行事を、我々会員周辺だけの「一回的なイベント」にするのではなく、この機会に、会員外の多くの人たちに、参加していただき、次のようなことを、理解してもらいたいと思っています。(特に「報告」の中などで。)

1. 「アメニティ2000協会」の活動・組織のこと
2. 「認定」取得ということの重み、
3. 「ヴォーリス建築」の素晴らしさ
4. 「ヴォーリス山荘」を協会が取得・維持・公開していることとその意義、
5. 日本に「ナショナルトラスト」を急速に育てないと、歴史的資産(特に近現代の名建築)が、急速に破壊されてしまうという危機的な事実

準備している立場で、会員の皆様をお願いしたいことは、要約すれば、二つあります。

- 一 会員の皆様の思いを伝えて、一人でも多くの方にご参加いただくようお誘いください。
- 二 当日に、ご参加いただく方をお迎えするためのスタッフとしてお力をお貸しください。

でも、思いだけでは、会員外の皆様にはお越しいただけません。短い時間ですが、素晴らしいオルガン演奏(ヴォーリス作曲の2曲もあります。)を予定しています。終了後には、神戸女学院生「ツアーマイスター」による「キャンパス・ツアー」も組み込んでいます。

どうか、自信をもって、お誘いください。

手前勝手な「思い」を書きましたが、少しでも、共感いただけたところがあれば幸いです。

予告の予告

東京企画...軽井沢散策

落葉松の色づくころ、軽井沢に数多く残るヴォーリス設計の別荘や教会、軽井沢を別荘地として見出したと言われるA. C. ショアの記念館、国の重要文化財である旧三笠ホテルなどを訪ねます。ヴォーリス建築では未公開別荘2棟の内部も見学します。

月日 10月17日(土)

オプションとして、「ホテル(北軽井沢)への宿泊」を用意します。次の日(18日)は、フリーで軽井沢を楽しみください。

正式なご案内は9月号でお送りします。



ご報告 コウノトリの郷との交流 5月30日(土) 豊岡

久しぶりの田植えでした。やわらかいトロトロの泥のなかで、イネの苗を一株ずつ手で植えていきます。農薬を使わない田んぼにはカエル、小魚などいろいろな生き物がいます。長いヒルもくねくねと泳いでいて、虫がにがてのハナさんは悲鳴をあげていました。お昼ごはんはもちろんコウノトリのお米のおにぎりとお米の畑で採れたばかりの野菜を使った料理。手作り味噌のみそ汁もとても美味しかったです。



ご報告 ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク大会 6月6日(土)7日(日) 静岡

大会は静岡英和女学院中学校・高等学校礼拝堂を会場にし、翌日の見学会は旧マッケンジー邸、焼津ルーテル教会、旧英和女学院宣教師館をまわりました。旧宣教師は会員の榎戸基さんがご夫婦で管理運営にあたっておられる建物で、美味しいランチもいただきました。

旧英和女学院宣教師館→



ご報告 東京企画 江戸城江戸城枡形門を探訪しよう 6月28日(土)

皇居周辺で国の重要文化財となっている枡形門の「外桜田門」「清水門」「田安門」をはじめとして、10ヶ所余りの「門」の他、多様な「石垣」や「濠」、門の前にある「橋」を探訪し、いろいろなエピソードとともにその特徴について学びました。昼食は皇居前にある「楠公レストハウス」にて江戸時代の料理法と現代の食材を利用した「江戸エコ行楽重」も堪能し、新緑がきれいな爽やかな天候の中「江戸城」を半日楽しみました。



田安門前にて

ご報告 上期セミナー第3回 6月13日(土) 草志舎

ナショナル・トラスト運動について、これまで協会が訪問したプロパティを中心に話しました。

六甲山荘に宿泊してみませんか

六甲山荘には会員とその家族なら宿泊できます。夜は窓を閉め切るほどの涼しさ、ほの暗いリビングでのおしゃべり、小鳥の声を聞きながら食べる朝食・・・泊まってこそ味わえる山荘の醍醐味です。

1泊 会員 3000円 会員の家族 5000円

小学生以下は半額

定員 6名(ベッドルーム2名×2部屋、和室2名)

食事は外食あるいはあの台所で自炊です。

なおお申込みは1週間前までお願いいたします。

<宿泊スタッフ募集>

宿泊客のあるときに山荘に泊まり込んで、お客の世話と山荘の管理をするスタッフを募集しています。

会員のペア(ご夫婦でもお友だちでも)でお申込みください。

誰にでもできる簡単な内容です。どうぞ挑戦してみてください。

心齋橋大丸原図展

大阪心齋橋の大丸百貨店はヴォーリズの代表作の一つですが、今建て替えの話がでています。

そこでこの建築の素晴らしさを皆さんに再認識していただきたいと、原図の展覧会が開かれることになりました。アムニティ 2000 協会も趣旨に賛同して後援をします。

主催 日本建築家協会(JIA)近畿支部・保存再生部会・大阪地域部会と合同会社 螺

協力団体 株式会社 一粒社ヴォーリズ建築事務所、公益財団法人 近江兄弟社

開催時期と場所

大阪 船場ビルディング、7月17日(金)～8月2日(日)

京都 東華菜館、8月6日

神戸 チャータードビル、8月13日(木)～20日(木)

近江八幡 アンドリュース館、8月23日(日)～30日(日)

内容 原図展のほか各会場ごとにイベントが行われる。

詳細が決まり次第ホームページに掲載します。ホームページが見られない方は事務局までお問い合わせください。

六甲山荘がNHKで放映の予定・杉本鉞子のドキュメンタリードラマ

六甲山荘の元の所有者森野郁子さんの祖母にあたる杉本鉞子（「武士の娘」の著者）を題材にしたドキュメンタリードラマが今NHKで制作中です。杉本鉞子についてはこのページの「お薦めの本」欄に市川武さんが紹介記事を書いておられるので、ご覧ください。

その杉本鉞子が生涯で住んだことのある建物のうち、現存するのは旧小寺山荘（現・ヴォーリズ六甲山荘）だけとのこと。先日NHKからその取材・撮影に來られました。

放映はBSで8月11日の予定です。山荘のシーンがどのくらいあるのかは別にして、みごとな女性の生き方を描くドラマです。ぜひご覧ください。

<お薦めの本>

内田義雄著『鉞子（えつこ）・世界を魅了した「武士（サムライ）の娘」の生涯』

市川 武

アメニティ 2000 協会発行の「ヴォーリズ六甲山荘物語」の建築主にまつわるお話し・私にとっての六甲山荘・森野郁子・の中に次のようなお話しが載っています。

「戦時中、母方の祖母・杉本鉞子（「武士の娘」の著者）は、東京に住んでおりましたが、空襲が始まったので、住吉に来ておりました。しかし、住吉が空襲されるようになったので、六甲山の家へ避難しておりました。小学生の弟がリュックサックに食料を入れて、住吉から往復歩いて六甲山の祖母の所まで届けたこともありました」の祖母・杉本鉞子さんの生涯を書いた「鉞子」を皆様に紹介致します。

扉を開くと、まえがきがあり次のような目次になっています。

序章 エツ・イナガキ・スギモト	第六章 フローレンス・ウィルソン
第一章 幕末維新に翻弄される父と娘	第七章 帰国
第二章 戊辰戦争と明治の稲垣家	第八章 賞賛された「不屈の精神」
第三章 婚約、そして東京へ	第九章 協力者の死と戦争への道
第四章 空白の五年間	第十章 鉞子が遺したこと
第五章 アメリカへの旅立ち	終章 黒船

この終章の初まりが次の様に書きだされています。

1955（昭和30）年9月、鉞子が亡くなって5年後のことだが、ミシガン大学の大学院で社会福祉学を学んでいた鉞子の孫にあたる24才の小寺郁子（長女花野の娘）は、夏休み旅行を計画したとき、母からオハイオ州シンシナティに立ち寄るようすすめられた。シンシナティは祖母の鉞子がアメリカへ行って結婚し、2人の娘を産んだ場所である。仲良しの友人を伴ってシンシナティを訪ねた郁子は、高級住宅地ハイド・パークのローラ・ウィル夫人の家に泊めてもらい、手厚いもてなしを受けた。家の裏庭にはプールがあって、友人と毎日のようにのんびりと泳いで過ごした。連日、祖母鉞子や母花野と親しかった大勢の人たちからお茶や食事に招かれた、（中略）一週間ほどの滞在だったが、郁子は母花野に「まるで女王様のような生活でした」と書き送っている。（中略）鉞子がシンシナティではぐくんだアメリカ人との交流の絆は、戦争による四年間の断絶をくぐりぬけて、祖母、母、孫へと三代にわたって生きていたのである（後略）。と書かれている。

私はまず「武士の娘」（ちくま文庫）を通読し、そして「鉞子」を読んだ。我々が守り公開しているヴォーリズ六甲山荘の持ち主であった小寺敬一氏、妻花野氏、長男敬成氏、長女郁子（森野）氏が、いつどんな登場をするのかとワクワクしながら読み進んだのです。誰かの言葉ではないが「感動した！」と思い、これはぜひアメニティの仲間に読んで頂きたいと思った。

案内人、市川武でした。

（講談社刊）

◇◆◇おしゃべリアラカルト◇◆◇

アメニティ 2000 協会の皆さまへ

ハナ・イスタム

私は2014年9月に研究生として日本にやってきました。2014年にケンブリッジ大学の考古学・人類学博物館から調査費を受け、明治時代の写真コレクションから日本の文化や歴史の側面をさぐる調査を行なうためです。この写真の背景を調べるという目的のほか、私として

は現代日本の文化、言語、歴史的資産についてできるだけ学びたいと願っていました。

この9か月西宮市の草志舎にホームステイしたおかげで、日本の過去と現在の生の姿を直に体験でき、私の希望がかないました、

私がアメニティ 2000 協会について知ったのは、2010年から2012年にかけて愛媛県で英語教師をしていたことです。今回清水夫妻は私を覚えていてくれて、あたたか

く迎えてくれました。おかげで文化財保全の分野で私のめざす道で大きく前進することができました。同時にアメニティ 2000 協会の活動に参加することもでき、会員の皆さんが熱心に、献身的に、頑張っている姿を実見することができました。日本の建築資産の保全のためにたゆまぬ努力を続けている人々、アメニティ 2000 協会の活動とヴォーリズ六甲山荘の維持管理に時間とエネルギーをかけているボランティアの人々、美しい手工芸品や料理をつくる人々、活動を未来につなぐためのキャンペーン活動をする人々。私のつたない日本語にもかかわらず、六甲山荘で楽しい時を過ごし、会員の皆さんとしあわせな時をすごしました。実に得がたい経験でした。私と会って、話して、支えてくださった皆さんに感謝しています。

今私はケンブリッジの博物館の調査を仕上げるために英国に帰国しています。2016年に日本に戻るよう、研究費の申請をしたいと思っています。研究とは別に、ア

メニティ 2000 協会の活動に今後もかかわっていきたいと考えています。

2015年9月にケンブリッジで開かれるINTOの世界大会でお会いできるのをとても楽しみにしています。

清水さんご夫妻とアメニティ 2000 協会の会員の皆さんに心から感謝します。皆さんのおかげでたくさんのすばらしい思い出ができました。この思い出は、英国と日本の草の根交流のために働いていこうとしている私を、強く後押ししてくれています。

皆さんのご多幸を祈っています、そしてまたお会いしましょう！

私にくださった皆さんの応援にかさねて感謝します



六甲山荘便り

5月、6月の六甲山荘

5月は13日、6月は9日、特別公開もふくめての公開でした。昨年にくらべてやや静かでしたが。訪れた方にはゆっくり落ち着いた時を過ごしていただけたと思います。

作業班は命綱をつけて屋根にのぼり、瓦の洗浄を行いました。長年のあいだについていたコケやカビを洗いおとして、屋根を長持ちさせる大切な作業です。なかなか勇壮な姿です！



募金のご報告～4月5月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。(敬称略)

* トラスト募金

《4月5月合計 1,183,360円 2015年度累計 1,183,360円》

* 教育募金

《4月5月合計 5,000円 2015年度累計 5,000円》

* 文化遺産継承基金

《4月5月合計 55,000円 2015年度累計 55,000円》

六甲山荘の昔の郵便受けのなかにシジュウカラが卵を産みました。スタッフの織田さんが発見したのが5月1日のことです。やがて卵がかえり、そしていつの間にか巣立っていました。来年も巣をかけてくれるといいのですが・・・

下の写真は親鳥が留守のあいだにいそいで撮った雛のようすです。



コウノトリの郷との交流



お手製の除草道具を使う畷さん



鍛鉄作家西田光男作品展 at 六甲山荘

ヴォーリズ六甲山荘に来られた方はお気づきと思いますが、門扉は鍛鉄で協会のロゴをかたどっています。その横にはおしゃれな照明と掲示板が備わっています。これは世界的に有名な鍛鉄作家の西田光男さんの制作です。2007年に六甲山荘で作品展をしたのがご縁で、門扉を作ってくださいましたのです。

この西田さんが9月の特別公開にあわせてふたたび六甲山荘で作品展をされます。

期間 9月19日(土)～27日(日)

期間中、華道小原流家元小原宏貴氏のトーク、春木浩子さん(ハーブ)のミニ・コンサート、鍛鉄のデモンストレーション、などのイベントも企画されています。詳しくは9月号でご案内いたします。楽しみにお待ちください。



六甲山荘の門扉を取り付ける西田氏(2008年6月)

認定特定非営利活動法人アメンティ 2000 協会

西宮市北昭和町3-20 TEL/FAX 0798-65-4303

携帯 080-3138-4164

Email lsoshisha@f6.dion.ne.jp

URL <http://homepage3.nifty.com/amenity2000/>